

平成30年度
第1回加賀市健康福祉審議会高齢者分科会会議録

日 時：平成30年6月21日（木）午後1時30分～3時10分

場 所：加賀市役所別館302・303会議室

出席委員：小林、湯谷、◎橘、田端、河嶋、○南野、浅野、本間、中野、中村、西谷、
松本、澤田、見付、鹿野、中屋

欠席委員：鈴木

（敬称略・◎会長、○副会長）

次第

開 会

役員選出

議 題

1. 高齢者分科会の役割と介護保険制度の概要について 【資料1】
2. 高齢者お達者プランの実績と概要について
 - (1) 介護保険事業計画第6期3年目の実績について 【資料2-1】
 - (2) 高齢者福祉計画第6期3年目の実績について 【資料2-2】
3. 地域包括支援センターの運営について
 - (1) 平成29年度の実績について 【資料3-1】
 - (2) 人員配置について 【資料3-2】
4. 介護予防支援委託事業者の報告について 【資料4】
5. 地域密着型サービス事業者の指定（更新）について 【資料5】
6. その他
 - (1) 加賀市自殺対策計画（仮称）策定について 【資料6】

閉 会

議事要旨

役員選出

役員選出について、事務局一任との声あり、事務局案として会長に橘委員、副会長に南野委員を提案し了承された。

議題1 高齢者分科会の役割と介護保険制度の概要について 資料1

質疑応答

小林委員 地域介護・福祉空間整備計画というのはどのようなものか。

事務局 国からの事業所等整備に係る補助金を活用する際に国に提出する計画。地域にどのような事業所を整備するのかを取りまとめて提出する。

議題2 高齢者お達者プランの実績と概要について

(1) 介護保険事業計画第6期3年目の実績について 資料2-1

質疑応答

本間委員 国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば2045年の加賀市の人口は38,195人と現在より半減することが見込まれているが、サービスの確保などについて3年間という短いスパンではなく長期的な視点をもって考える必要があるのではないか。

事務局 加賀市全体としては人口ビジョンや総合計画などで長期の人口推移を見ながら全体としての検討はしている。高齢者の計画としては3年間の基本として、2025年を見据えた形で計画を策定している。今後の計画策定においてより長期の視点を持ちたい。

議題2 高齢者お達者プランの実績と概要について

(2) 高齢者福祉計画第6期3年目の実績について 資料2-2・同(別添資料)

質疑応答

小林委員 あまりにもいろいろな「コーディネーター」が多くて、だれが何をするかわかりにくい。

事務局 家事支援サービスやシニア活動応援事業など目的別に行っている。

橋会長 専門職向けにはそれでもよいが、市民向けにはわかりやすくしたほうがいい。第8期で検討してほしい。

湯谷委員 感想ですが、他市町に比べ認知症初期集中支援チームの活動が活発でよい。関係者同士の連携が取れているということだと思う。今後も続けていってほしい。

議題3 地域包括支援センターの運営について

(1) 平成29年度の実績について 資料3-1

(2) 人員配置について 資料3-2

質疑応答

松本委員 相談した結果がどうなったか教えてほしい。確実にフォローできているか。

事務局 要介護認定申請手続きや地域の社会資源を紹介したり、必要に応じて情報提供したり、手続きをしている。医療機関受診の支援も行っている。

中屋委員 山代の相談が多いようだが原因などが分かれば教えてほしい。

事務局 山代については、高齢者人口が多いため相談件数も多くなっている。温泉場ということもあり一人暮らし高齢者も多く相談件数が多くなるのではないかと。

小林委員 7ページの「②主な『いいえ』の項目」に対して基幹型からはどのようなサポートが行われているのか教えてほしい。

事務局 ブランチの自己評価において、「いいえ」が例年続く項目として、地区単位の地域ケア会議の開催ができていない状況がある。基幹型包括として、地域型元気はつらつ塾での地域ケア会議も開催しており、新たな場をつくるばかり

でなく、今ある場も生かして地域ケア会議を開催していきたい。基幹型の職員同士意識して、今年度は取り組みたい。

議題4 介護予防支援委託事業者の報告について 資料4

質疑応答 特になし

議題5 地域密着型サービス事業者の指定（更新）について 資料5

質疑応答 特になし

議題6 その他

(1) 加賀市自殺対策計画（仮称）策定について 資料6・同（別冊資料）

質疑応答 特になし

閉会